

ARAI

NEWS

(特)新井信武
 〒230 埼玉県浦和市東町2-12
 TEL048(41)3425-7

POS	N	DRIVER	NAT	CAR	1st SESSION		2nd SESSION	
					B.TIME	LAP	B.TIME	LAP
1	12	A. SERRA	BRA	IPS RENAU	21.430	4	20.450	9
2	5	W. LANGST	GER	WILLIAMS HONDA	22.050	11	20.536	8
3	27	R. ALBERTO	ITA	FERRARI	22.600	12	20.583	5
4	23	E. CHEVYER	USA	DEWETTON A. ROMEO	22.755	6	20.728	7
5	2	A. PROPP	FRA	MARLBORO TAG	22.870	9	20.545	6
6	19	B. BUESCH	BEL	ARONS BMW	24.610	3	21.392	7
7	9	K. KESSE	FIN	WILLIAMS HONDA	23.090	6	21.370	6
8	25	A. DE CESARIS	ITA	LIGIER RENAU	22.692	2	21.847	6
9	11	E. DE ANGELIS	GER	IPS RENAU	23.910	8	21.465	7
10	16	D. WADSWOOD	AUT	RENAU-ELP	23.524	9	21.591	6
11	18	G. ROSEN	ITA	ARONS BMW	24.293	5	21.645	6
12	17	G. PASSE	SPA	DEWETTON A. ROMEO	22.145	4	21.619	6
13	22	N. FAHRE	AUT	ALIVETTI BRAGHAN	23.548	6	21.811	6
14	7	I. LIGIER	SPA	MARLBORO TAG	22.697	6	21.801	6
15	14	A. JANSSEN	GER	FERRARI	23.183	8	22.000	6
16	15	T. TAMURA	ITA	LIGIER RENAU	26.891	8	22.000	6
17	3	M. GONZALEZ	ITA	IPS RENAU	26.891	8	22.000	6
18	30	J. POGGIO	ITA	IPS RENAU	24.473	4	22.000	6
19	19	F. FABI	ITA	IPS RENAU	26.484	2	22.000	6
20	19	F. FABI	ITA	IPS RENAU	41.584	2	22.000	6
					26.243	7	22.000	6

F-1ドライバーの現状。

バイクに乗っている人は、F-1レースというと4サイクルのスーパーバイクレースを思い浮かべる人もいますが、やはり一般的には、フォーミュラーレースの最高峰として知られています。日本ではまだまだなじみはうすいようですが、ヨーロッパでは、絶対的な権威と人気を保っており、ここで戦うドライバーは、日本で言えばプロ野球のスター選手、いや、それ以上の国民的英雄だと言えどどんなものかは想像できるでしょう。

今から一昔前の話ですが、**①**がレース活動を始めた頃は、やはりF-1は真の上の存在、いつかは**①**の製品をF-1ドライバーにも被ってもらえるようになるかと心に誓いながらも、その目標ははるかかなたにかすんで見えたものでした。それから一歩一歩着実に進んできた今、F-1の現状を見て、**①**もついにここまでできたかと、改めて感激してしまいました。

というのは、F-1シリーズの中でも最も歴史があり、今年も5月19日に行われたモナコグランプリの予選結果表を見てのことなのですが、決勝に進出した20人の

中に**①**を被ったドライバーが7人もいたということなのです。その内わけを見ると、**①**7人、BELL7人、OPA2人、NAVA2人、agv1人、JEB'S1人という具合で、さすがに歴史のあるBELLはまだまだ多くのドライバーに支持されていますが、**①**もついにF-1の世界でNo.1の名のりを上げたのです。

①を被るドライバーは、ウィリアムスホンダに乗る82年世界チャンピオン、ケケ・ロズベルグ。昨年はロータスに乗ってケケと毎回大熱戦を演じ、今年はチームメイトになったナイジェル・マンセル。サンマリノGPでは2位と大健闘し、今年は常に予選上位にその名を連ねているアローズのティエリー・ブーズェンとそのチームメイト、ゲルハルト・ベルガー。昨シーズンは日本のF-2にも参加して、今年は名門フェラーリに大抜擢されたステファン・ヨハンソン。82年のF-2チャンピオンでドイツ製のザクススピードでF-1に挑戦するジョナサン・バーマー等7人の選手達です。テレビや4輪雑誌等でF-1をみる機会があったならば、シールドの上に光る**①**のマークに注目しておいて下さい。

①では、実力以上の無理をしてまで選手を集めているわけではありません。特にF-1のドライバーともなると、自分達の認めたもの以外決して被ろうとしないプライドの高い選手ばかりです。ですから、今シーズン急に7人もドライバーが被り始めたわけではなく、長い間地道にいいものを作り続けてきた**①**をドライバーが実際に体験した上で選択し、一人また一人と増えてきた結果が現状なのです。有難いことに他にも、**①**を被りたいと申し込んで下さっているドライバーも数人おられますが、あまり**①**だらけにしてしまうと摩擦が生じるのではないかと考えお断りしている程です。

それにしても、ここまで来る道のりはやはり厳しいものでした。それと同時にヘルメットもどんどん進歩してきたため、今ではその厳しさも楽しい思い出になりつつありますが、あのF-1の世界をはるか彼方に失望の的とした時の初心を忘れずこれからも頑張り続けるつもりです。

